

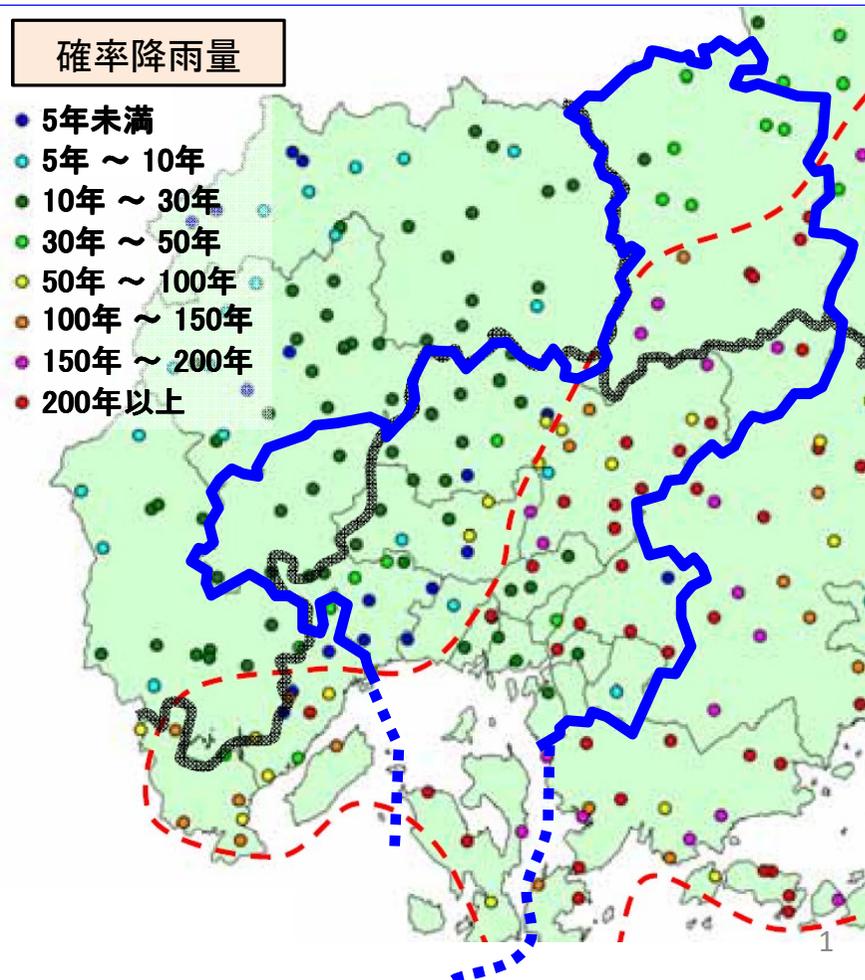
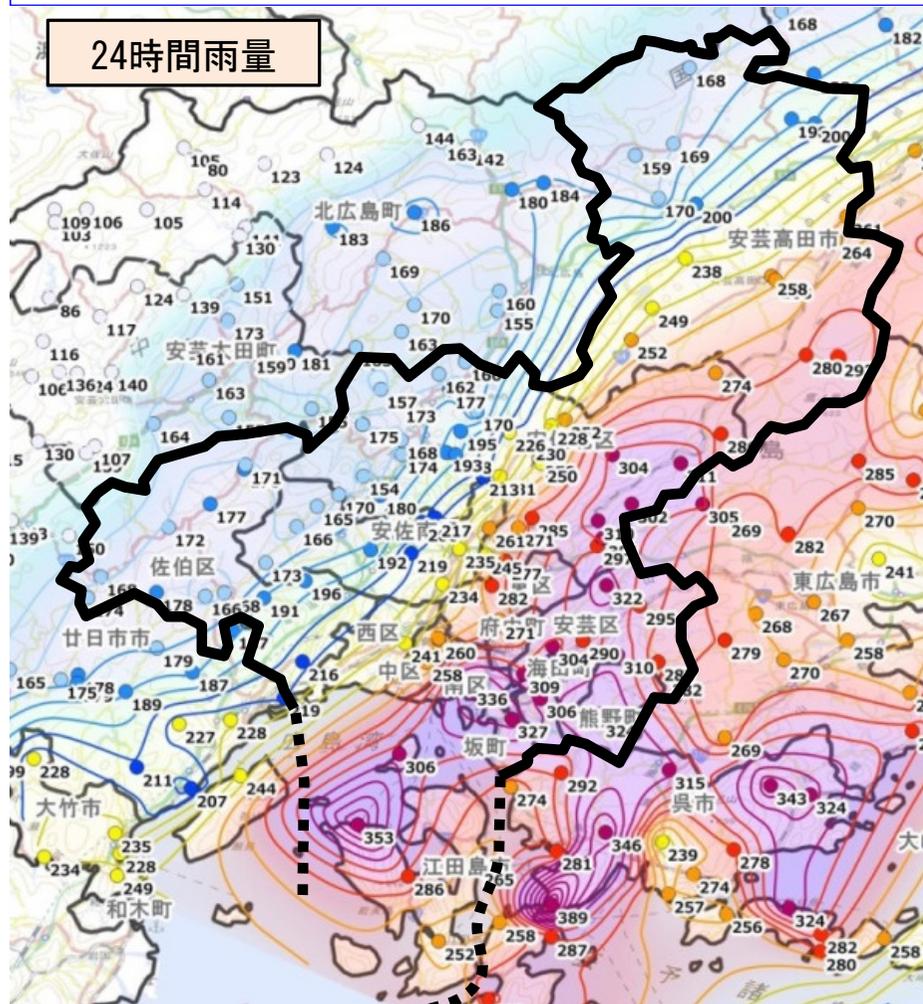
平成30年7月豪雨災害の概況

1. 出水の概況
2. 被害の概況

1. 出水の概況

(1) 気象の概況

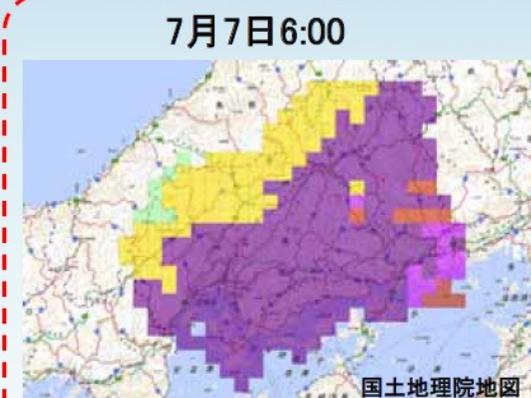
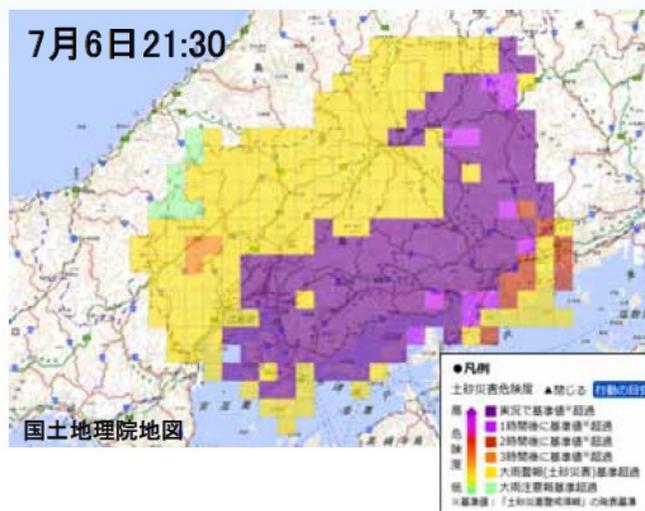
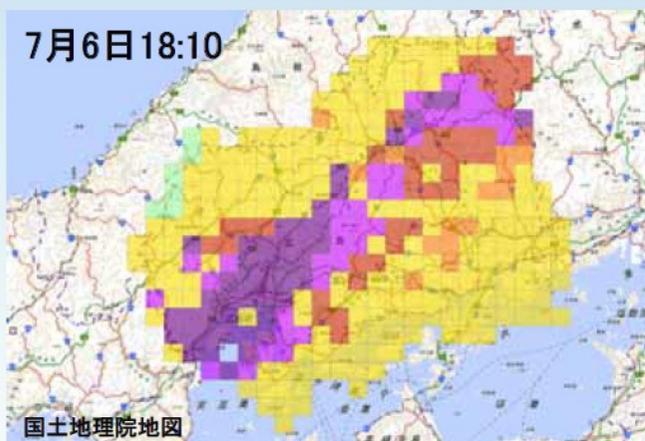
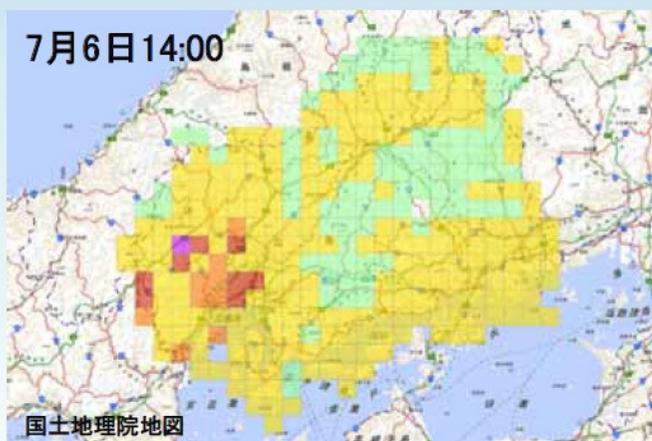
- 平成30年7月4日に日本海中部で台風7号が温帯低気圧に変わり、温帯低気圧からのびる梅雨前線が西日本に停滞し、温かく湿った空気が流れ込んだため、広島県では6日昼過ぎから7日朝にかけて大雨となった。
- 7月6日12時～7日12時の24時間雨量は、広島市安佐北区・安芸区，安芸郡4町，江田島市で300mm以上を観測。24時間の確率降雨は、100年確率以上が広く分布している。



1. 出水の概況

(2) 土砂災害警戒情報の発表状況

- 土砂災害警戒情報 7月6日 14:05発表 第1号 広島市
 14:40発表 第3号 安芸高田市
 17:35発表 第5号 府中町, 海田町, 坂町
 18:10発表 第7号 江田島市, 熊野町



平成30年7月6日 土砂災害警戒情報の発表状況		
号数	発表市町	発表時刻
土砂災害警戒情報第1号	広島市	14:05
土砂災害警戒情報第2号	廿日市市	14:25
土砂災害警戒情報第3号	庄原市	14:40
	安芸高田市	
	安芸太田町	
土砂災害警戒情報第4号	北広島町	15:10
	三次市	
土砂災害警戒情報第5号	大竹市	17:35
	府中町	
	海田町	
土砂災害警戒情報第6号	坂町	17:50
	神石高原町	
土砂災害警戒情報第7号	竹原市	18:10
	東広島市	
	呉市	
土砂災害警戒情報第8号	三原市	18:40
	江田島市	
土砂災害警戒情報第9号	熊野町	19:00
	尾道市	
	府中市	18:40
	世羅町	
	福山市	
	大崎上島町	

2. 被害の概況

災害による被害数について（R1. 7. 3時点）

（1）人的被害

※死亡欄の（ ）は災害関連死として認定された人数（内数）

市町名	死亡	行方不明	重症	軽傷	計
広島市	23	2	12	18	55
安芸高田市	2	1			3
江田島市			3	1	4
府中町				2	2
海田町	3(2)		4	1	8
熊野町	12		10		22
坂町	18(2)	1	4	8	31
計	58	4	33	30	125

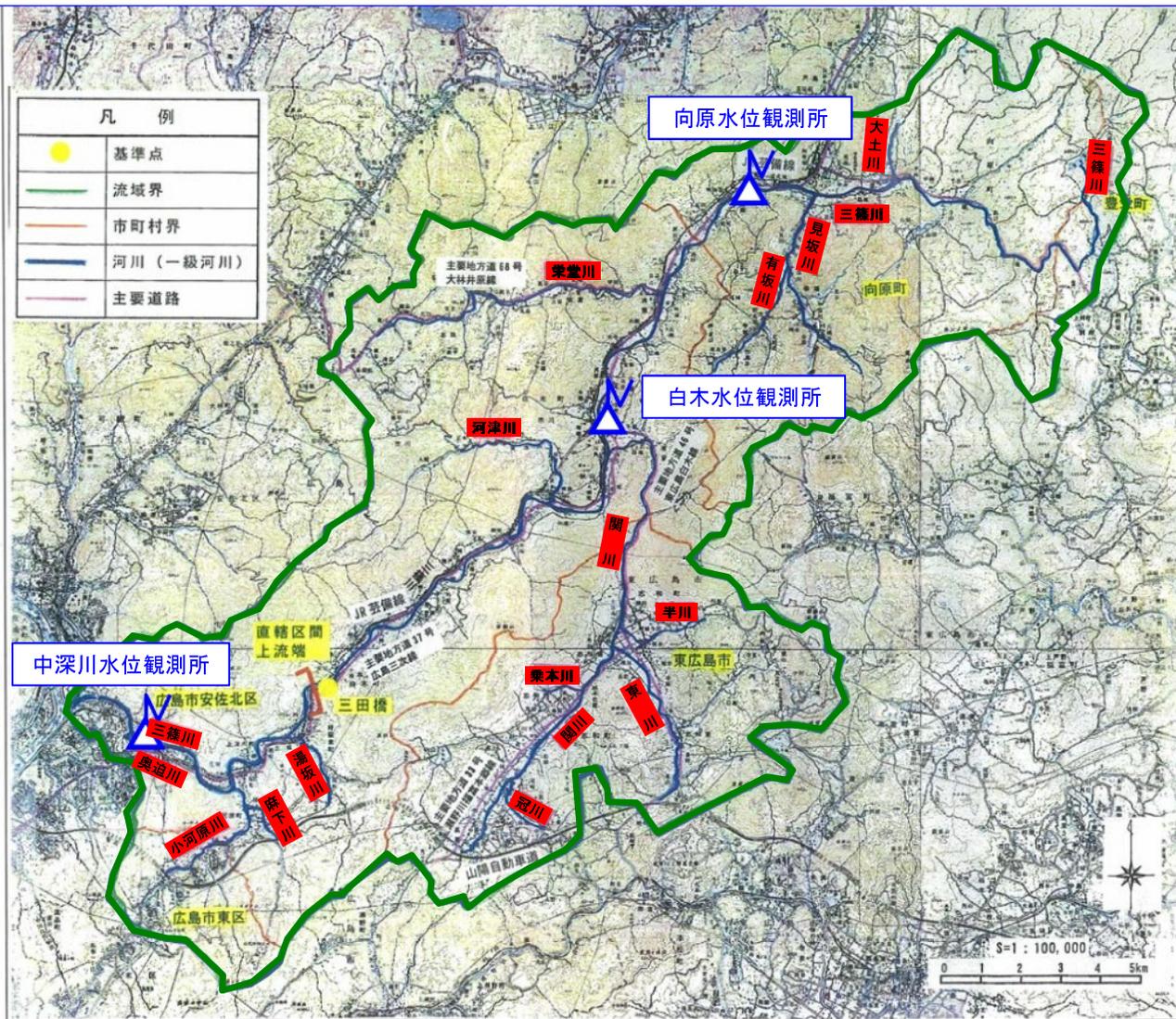
（2）住家被害

市町名	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	計
広島市	111	358	130	894	978	2471
安芸高田市	1	1	1	19	88	110
江田島市	8	25	59	23	56	171
府中町	2	17	95		22	136
海田町	16	83	17	115	195	426
熊野町	21	19	25	19	45	129
坂町	264	897	180	3	113	1457
計	423	1,400	507	1,073	1,497	4,900

2. 被害の概況(三篠川流域)

(1) 三篠川流域の概況

- 三篠川は太田川流域のうち下流東部に位置し、広島市安佐北区、安芸高田市にまたがる河川。
- 三篠川流域は、三篠川、奥迫川、小河原川、関川等の15河川から構成され、総流域面積274.2km²、幹川流路延長42.4kmである。



河川名	河川延長 (km)	流域面積 (km ²)
みささ	42.40	274.2
三篠川		
おくさこ	0.75	3.4
奥迫川		
おがわら	4.00	17.0
小河原川		
まげ	2.50	6.5
麻下川		
ゆさか	3.40	7.9
湯坂川		
かわつ	4.40	14.1
河津川		
せき	13.70	69.5
関川		
はん	2.88	4.3
半川		
ひがし	6.00	20.8
東川		
のりもと	1.00	2.9
乗本川		
かんむり	1.72	3.1
冠川		
えいどう	2.90	24.5
栄堂川		
みさか	5.40	18.1
見坂川		
ありさか	3.50	7.1
有坂川		
おおつち	1.40	5.7
大土川		

2. 被害の概況(三篠川流域)

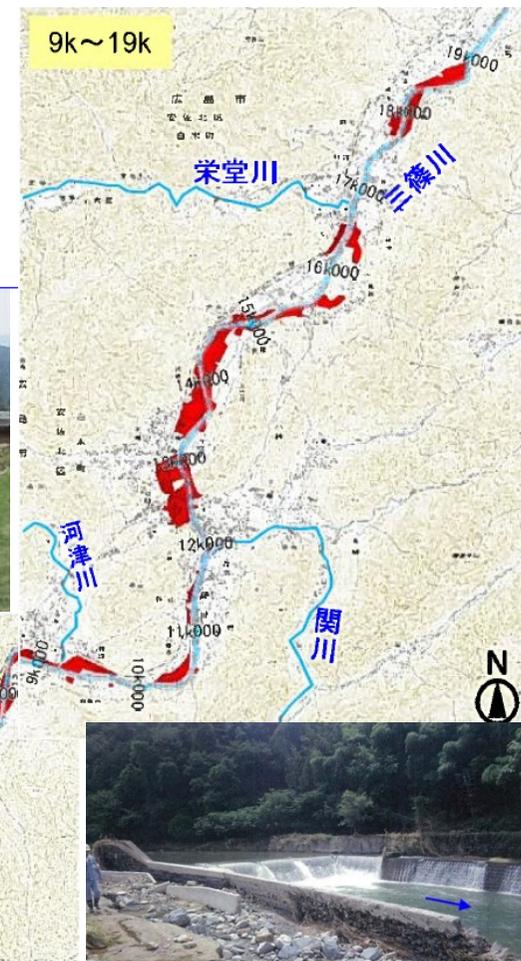
(2) 三篠川流域における降雨・被災状況

○降雨量

- ・ 短時間雨量（1～3時間）の確率規模は概ね1/20～1/60年，長時間雨量（12～24時間）の確率規模は1/160～1/200年以上と推算。
- ・ 氾濫危険水位（1.15m）超過時間は約14時間に及んだ。

○被害状況

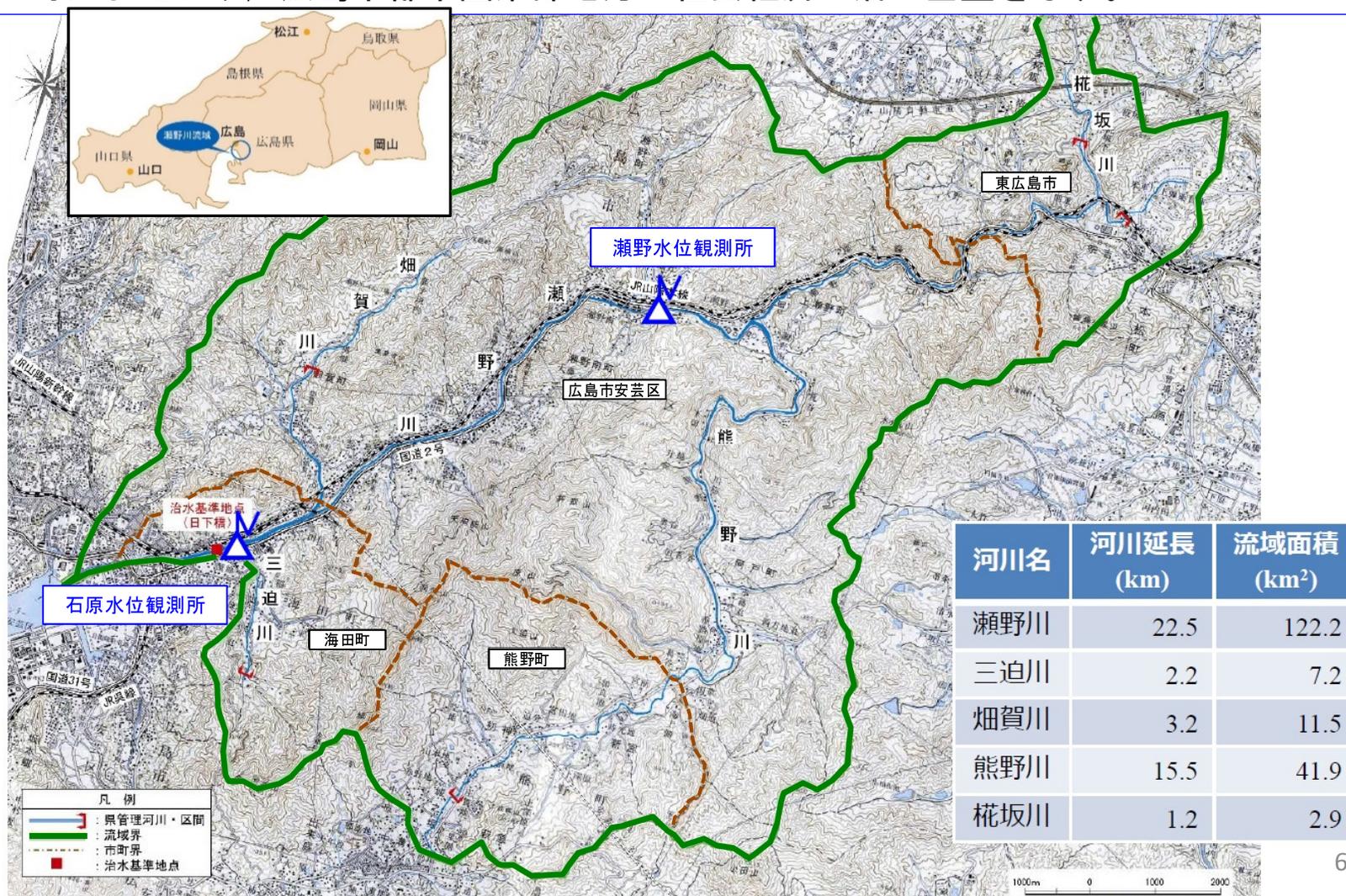
- ・ 浸水面積は全体で約234.5ha，家屋浸水被害は約343戸となった。
（※氾濫シミュレーション結果より）
- ・ 浸水被害に加え，JR橋梁を含む6橋で落橋被害が発生した。
- ・ 護岸等施設被害は約19kmに及んだ。



2. 被害の概況（瀬野川流域）

（1）瀬野川流域の概況

- 瀬野川は源を東広島市曾場ヶ城山に発し，途中支川である熊野川を合わせ中流部に至り，その後下流部にて畑賀川等の支川を合流した後，広島湾において瀬戸内海へ注ぐ二級河川。
- 流域面積は122.2km²，幹川流路延長22.5kmに及び広島市安芸区，東広島市，海田町，熊野町の2市2町にまたがり，広島市都市圏東部地方の社会経済生活の基盤をなす。



2. 被害の概況（瀬野川流域）

（2）瀬野川流域における降雨・被災状況

○降雨量

- ・ 短時間雨量（1～3時間）の確率規模は概ね1/100年，長時間雨量（12～24時間）の確率規模は1/200年以上と推算。

○被害状況

- ・ 浸水面積は全体で約33ha。
- ・ 瀬野川本川における護岸等施設被害は約1.3kmにおよぶ。
- ・ 支川において，上流からの土砂供給により河川の埋塞が発生。

継続時間	1時間	2時間	3時間
雨量(mm)	50	92	113
確率規模	1/138	1/1,624	1/113
継続時間	6時間	12時間	24時間
雨量(mm)	152	237	333
確率規模	1/200以上		



2. 被害の概況（瀬野川流域）

（3）ひよき川における降雨・被災状況

○被害状況

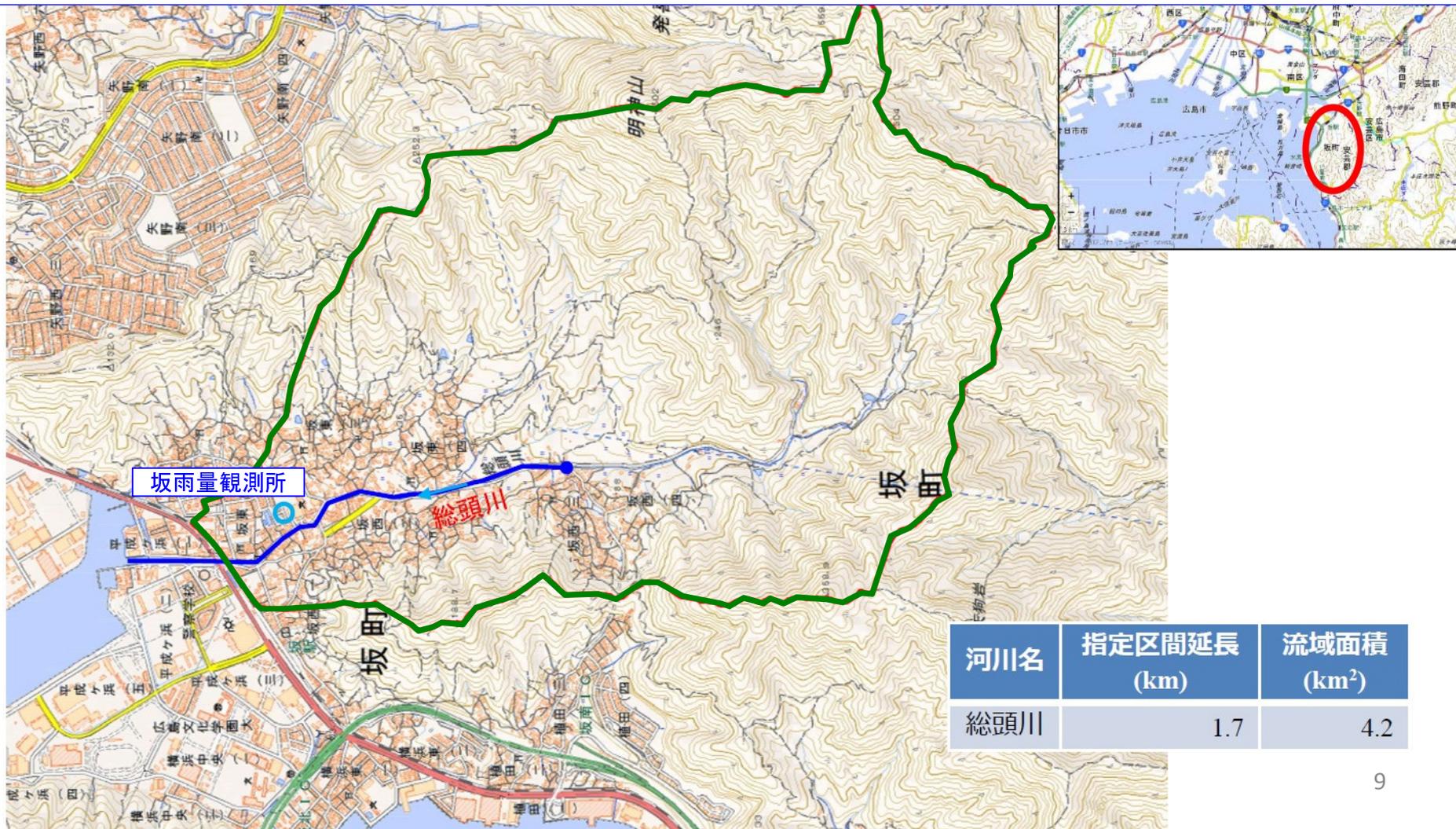
- ・施設被災延長は537.4m（橋梁，道路，護岸，基礎，石積）。
- ・土石等により，家屋，農地などが広範囲に渡って被災（宅地被災面積25.3a）。
- ・土砂供給により河川の埋塞が発生した。



2. 被害の概況（総頭川流域）

（1）総頭川流域の概況

- 総頭川は源を安芸郡坂町に発し，途中明神川等を合流し広島湾において瀬戸内海へ注ぐ二級河川。
- 流域面積は4.2km²，二級河川指定区間は1.7kmの河川であり，指定区間より上流や各支川は，砂防指定地内河川となっている。



2. 被害の概況（総頭川流域）

（2）総頭川流域における降雨・被災状況

○降雨量

- ・ 坂雨量観測所では、1時間最大67mm、24時間最大で347mmの雨量が観測されている。
- ・ 短時間雨量（1～3時間）の確率規模は概ね1/50年、長時間雨量（12～24時間）の確率規模は1/150年以上。

○被害状況

- ・ 浸水面積は全体で約27ha、家屋浸水被害は約350戸。
- ・ 複数の溪流から土石流が発生し、総頭川及び周辺市街地へ集中して流下した。
- ・ JR線上流の橋梁において、大量の流木が橋桁に引っかかり、流水が堰き止められ、氾濫が広がった。



2. 被害の概況(西部管内)

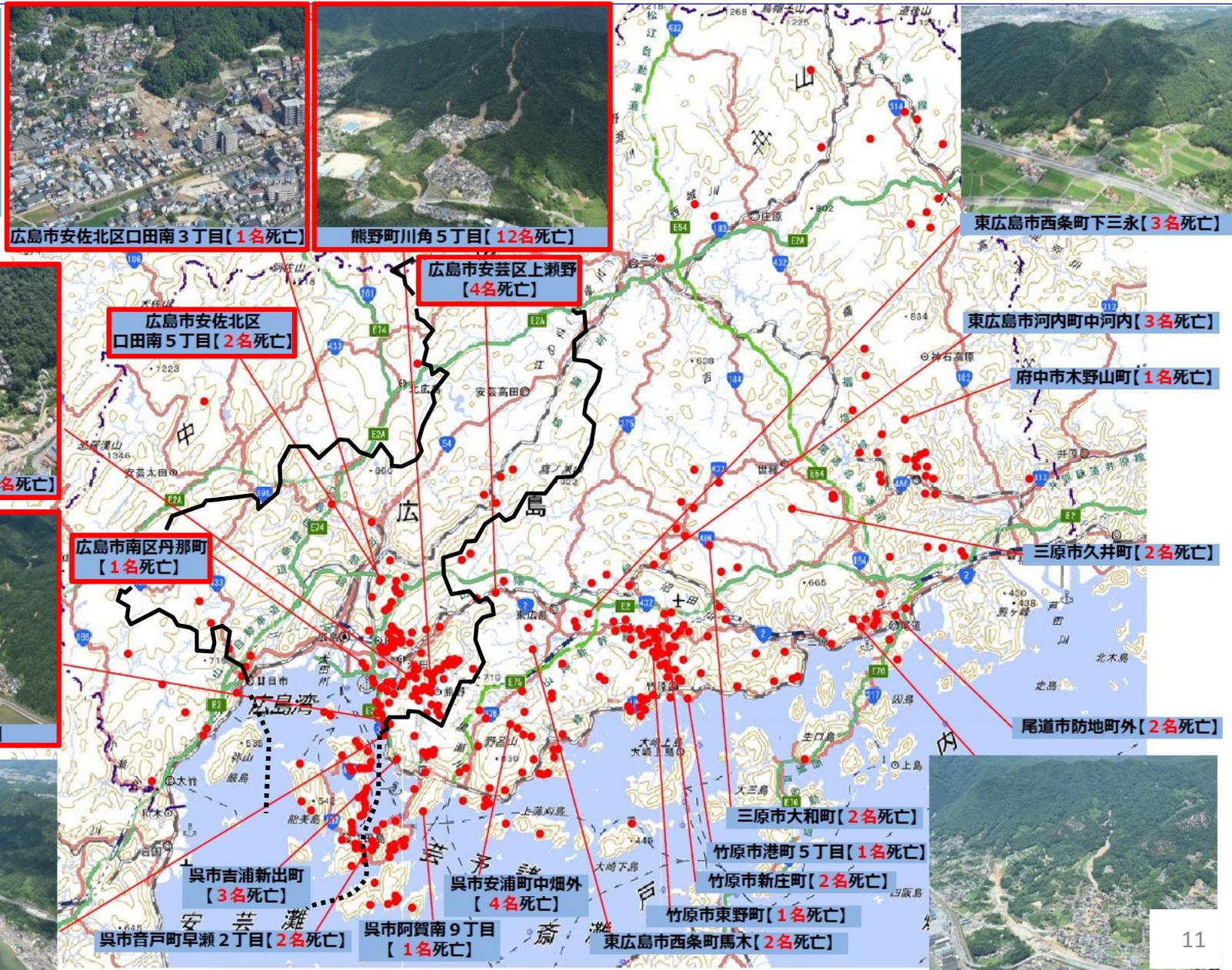
土砂災害の発生状況

H30.9.7時点

土砂災害発生状況

土砂災害発生箇所数(※)
1,242 箇所

※発生件数は土砂災害危険箇所で土砂災害が発生した箇所、土砂災害危険箇所以外で土砂災害による人的被害及び人家被害等が発生した件数
(広島県土木建築局砂防課調べ)



2. 被災の概況(熊野町川角地区)

熊野町川角地区

人的被害：死者12名

住宅被害：全壊22戸

半壊13戸

雨量状況

観測所：焼山

発生降雨総雨量：491mm

最大時間雨量：57mm

最大24時間雨量：324mm



コアストーン



2. 被災の概況(坂町小屋浦地区)

坂町小屋浦地区

人的被害：死者15名
：行方不明者1名
住宅被害：全壊31戸
半壊75戸

雨量状況

観測所：天応
発生降雨総雨量：459mm
最大時間雨量：58mm
最大24時間雨量：305mm

■ 全壊家屋
■ 半壊家屋

